

平成31年 1月16日 県立教育研究所

平成30年度

# 小学校教育課程説明会

## 生活科

---

奈良県教育委員会事務局 学校教育課  
指導主事 堺 隆宏

# 本日の内容

---

- I 育成すべき資質・能力の明確化
- II 生活科における主体的・対話的で深い学び
- III スタートカリキュラムについて

# I 育成すべき資質・能力の明確化

---

## 教科目標

(旧) 具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び  
技能の基礎

(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

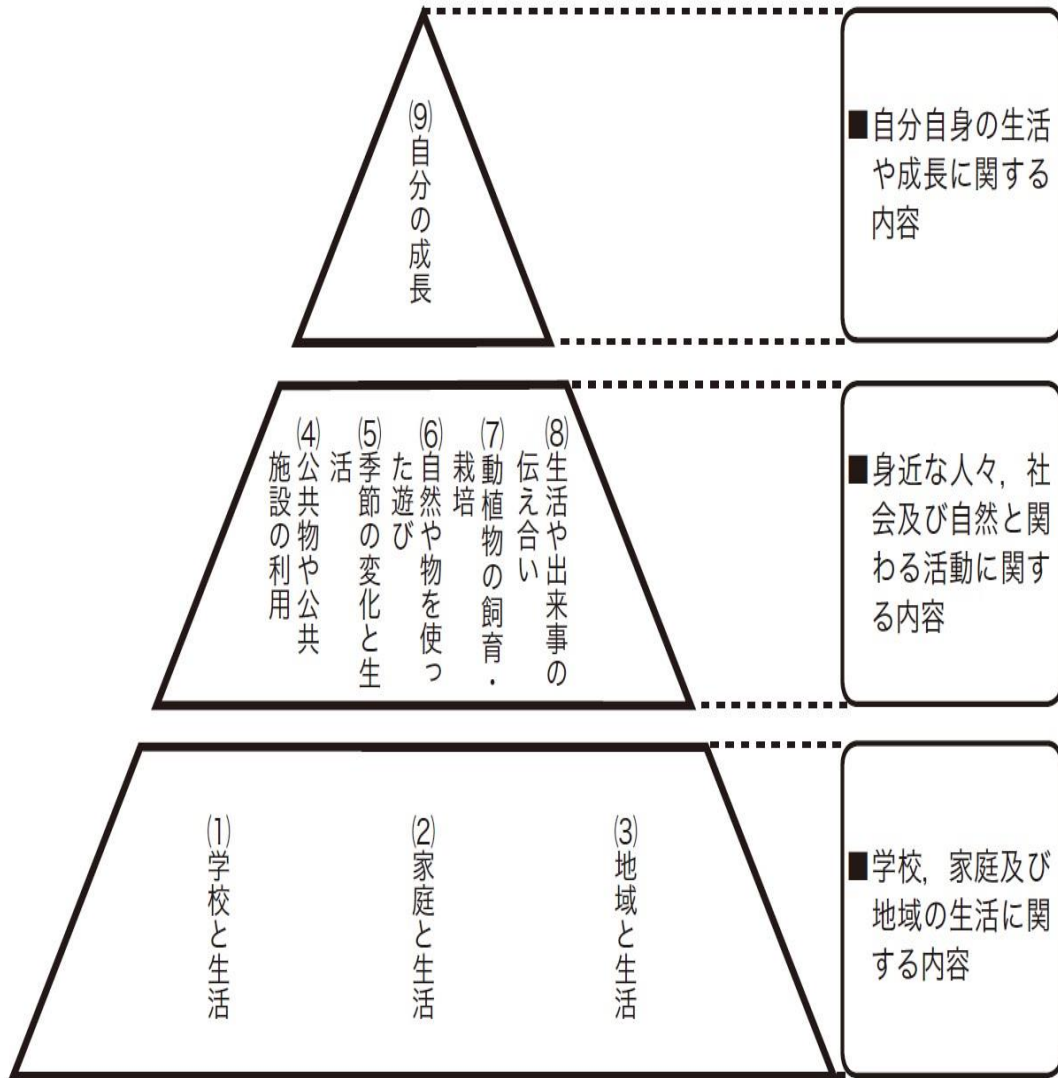
思考力、判  
断力、表現  
力等の基礎

(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

学びに向かう力、  
人間性等

(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

# 学年の目標・内容構成



生活科の内容のまとめ

(3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにする。

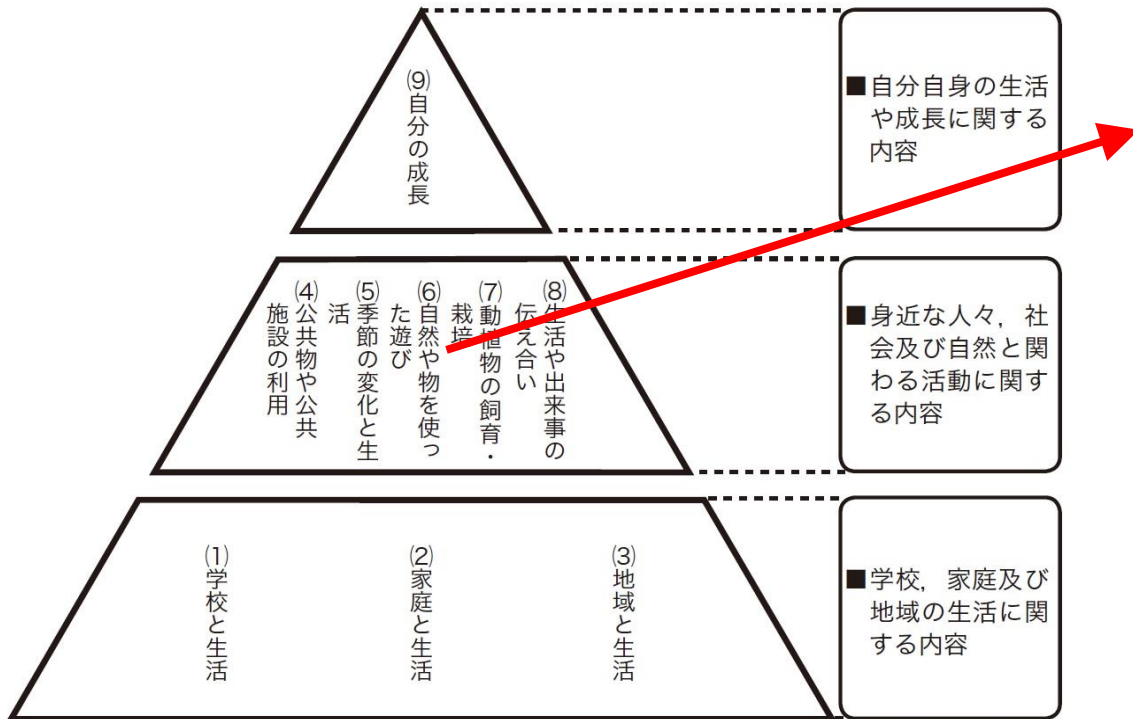
(2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。

(1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。

# 各内容項目の改善

各内容に、次の要素を組み込み構成

- ①学習対象や学習活動等
- ②思考力、判断力、表現力等の基礎
- ③知識及び技能の基礎
- ④学びに向かう力、人間性等



## 内容(6) 自然やものを使った遊び

(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくりことができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

## Ⅱ 生活科における主体的・対話的で深い学び

---

### 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1

(1) 年間や、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、児童が具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動の充実を図ることとし、校外での活動を積極的に取り入れること。

#### 見方・考え方

「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」

#### 〔身近な生活に関わる見方・考え方〕

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする事



## 主体的な学びの視点による学習指導

表現を行い伝え合う活動の充実を図る

## 対話的な学びの視点による学習指導

他者との協働や伝え合い交流する活動により、  
児童の学びを質的に高める

## 深い学びの視点による学習指導

気付いたことを基に考え、新たな気づきを生み  
出し関係的な気づきを獲得する学びを実現する

**気づきの質を  
高める**

# 気づきの質を高める

## 気づきとは

- ・ 対象に対する一人一人の認識
- ・ 児童の主體的な活動によって生まれるもの
- ・ 知的な側面だけでなく、情意的な側面も含まれる
- ・ 「あれっ」「どうして」「なるほど」などのように何らかの心の動きを伴って気付くもの
- ・ 気づきは、確かな認識へとつながるもの

# 気づきの質を高める

## 気づきの質が高まった

- ・ 無自覚だった気づきが自覚される
- ・ 個別の気づきが関連付けられる
- ・ **自分自身についての気づき**が生まれる

**特に大切に**

# 気付きの質を高める

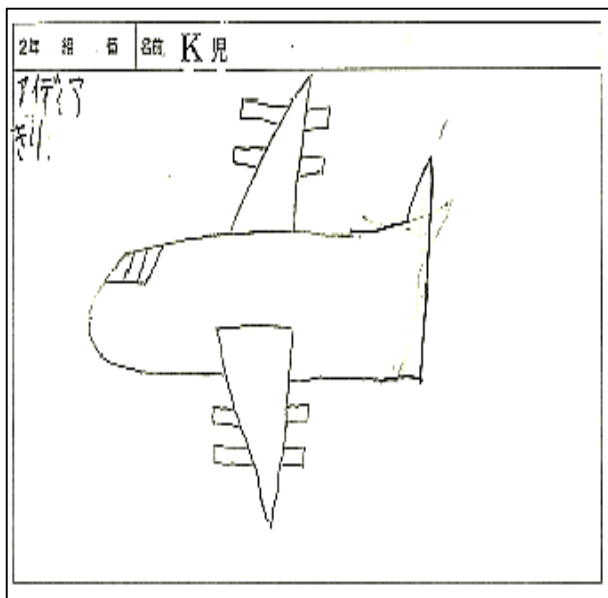
## 気付きの質を高めるための学習指導

- ・ 試行錯誤や繰り返す活動を設定する
- ・ 伝え合い交流する場を工夫する
- ・ 振り返り表現する機会を設ける
- ・ 児童の多様性を生かし、学びをより豊かにする

# 気付きの質を高めるための学習指導

- 試行錯誤する活動の設定 ～「つくってあそぼう」【内容(6)】～

K児の初めの設計図



国立教育政策研究所『評価規準の作成、  
評価方法等の工夫改善のための参考資料』

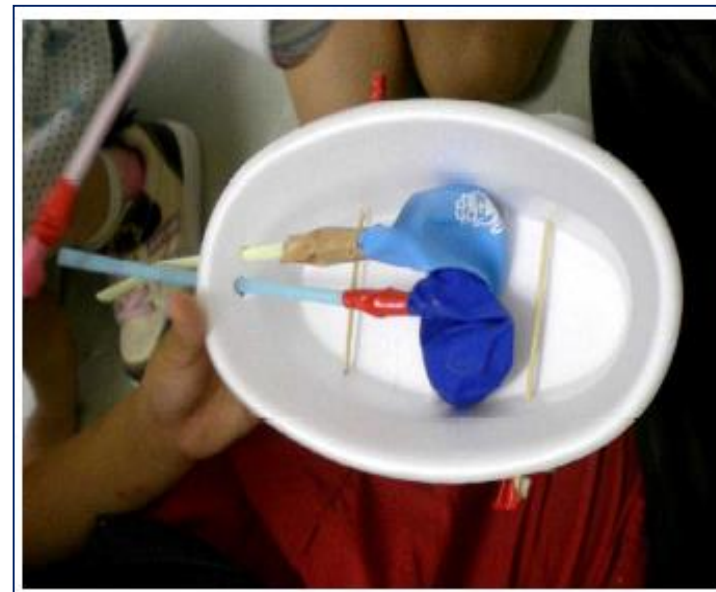


J児の作品



- ①動きが足りない
- ②風船二つ
- ③タイヤが浮いて進まない

K児の作品

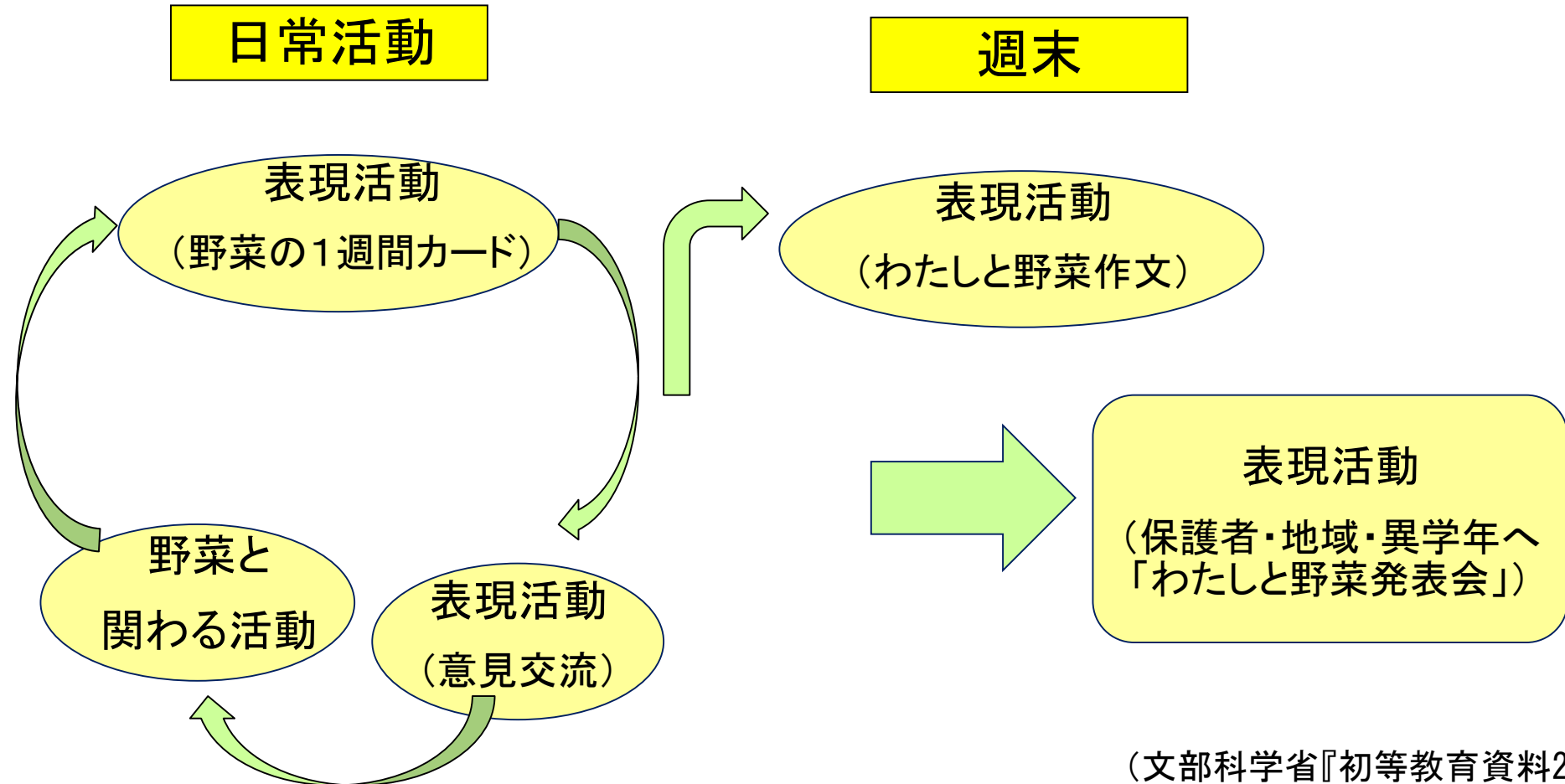


- ①J児のまね
- ②風船の数  
(増やしたり、減らしたり)
- ③友達のおもちゃを分析し、自分のおもちゃに生かす
- ④ストローを下向きに

# 気づきの質を高めるための学習指導

## ・ 継続的に繰り返す活動の設定

～「大きくなあれ わたしのやさい」【内容(7)】～








(文部科学省『初等教育資料2013 6月号』)

# 気付きの質を高めるための学習指導

## ・ 継続的に繰り返す活動の設定

～「大きくなあれ わたしのやさい」【内容(7)】～

トマちゃん		の1週間
5月16日(月)		せが高くなったよ。 トマトを見にいったらせが高くなっ てびっくりしました。
5月17日(火)		せをはかたよ。 せをはかたらきのうよりすこ しく大きくなったまかしました。
5月18日(水)		花がもう二つさきそだホよ。 きょう見にいったらトマトに花が もう二つさきそでしたふれしかま です。
5月19日(木)		せが高くなったよ。 おう見にいったらまのうよりせ が高くなりました。うれしかった です。
5月20日(金)		水をすくなめにして見たよ。 いつも水いっぱいやってるけ どまうは水をすくなめにして見まよ。 なほどうなるかたのみです。

# 気付きの質を高めるための学習指導

## ・ 振り返り表現する活動の設定

春  
カタツムリを だいじに だいじに そだてた。  
かわいくて かわいくて しょうがない。

夏  
えさを まいにちあげて しっかりそだてたら  
なんと たまごをうんだ！  
白い糸を はきながら  
いっぱい いっぱい うんだ！  
わたしは ヒーちゃんとミィちゃんにこういった。  
「ミィちゃん ヒーくん うんでくれてありがとう」  
そしたら また たまごを うんだ！

秋  
やっぱり だいじに そだてていると  
また また たまごをうんだ！  
わるいことはないけど  
いっぱいありすぎちゃった。  
そして、ふつうに そだてていたら  
また また また 4かいめのたまごだ！  
わたしは とつても とつても たいへんな  
きもちになった。

いま  
わたしは いっぱい いっぱいのカタツムリに  
かこまれてくらしている。

(文部科学省『初等教育資料2014 4月号』)



# 気づきの質を高めるための学習指導

- ・ 振り返り表現する活動の設定

～「おいしい野菜いをそだてよう」【内容(7)】～

## 「振り返ってしまおう」活動の工夫



# 気付きの質を高めるための学習指導

## ・ 振り返り表現する活動の設定

～「あきになったね きもちがいいね」【内容(5)】～

### 「振り返ってしまおう」活動の工夫

愛知・田原青果センター

店の名前

遊び方の説明

ルール

楽しく遊ぶ工夫

注意すること

プレゼント

あそびかた  
のどんぐりまき まわします。2かいします。  
たおれた<sup>は</sup>はまけです。

②どんぐりまきまで、200回になた人は  
どんぐりまきかみをもらえます。

③1かいからたら 100円だよ。

④100円の<sup>は</sup>はかみがもらえます。

# 気づきの質を高めるための学習指導

## ・ 伝え合い交流する活動の設定

～「すごいぞ！〇〇の名人ちょうさい」【内容(3)】～ <1回目の探検>



# 気付きの質を高めるための学習指導

## ・ 伝え合い交流する活動の設定

～「すごいぞ！〇〇の名人ちょうさい」【内容(3)】～ <2回目の探検>



気付きの視点の広がり→気付きの質の高まり

# 気づきの質を高めるための学習指導

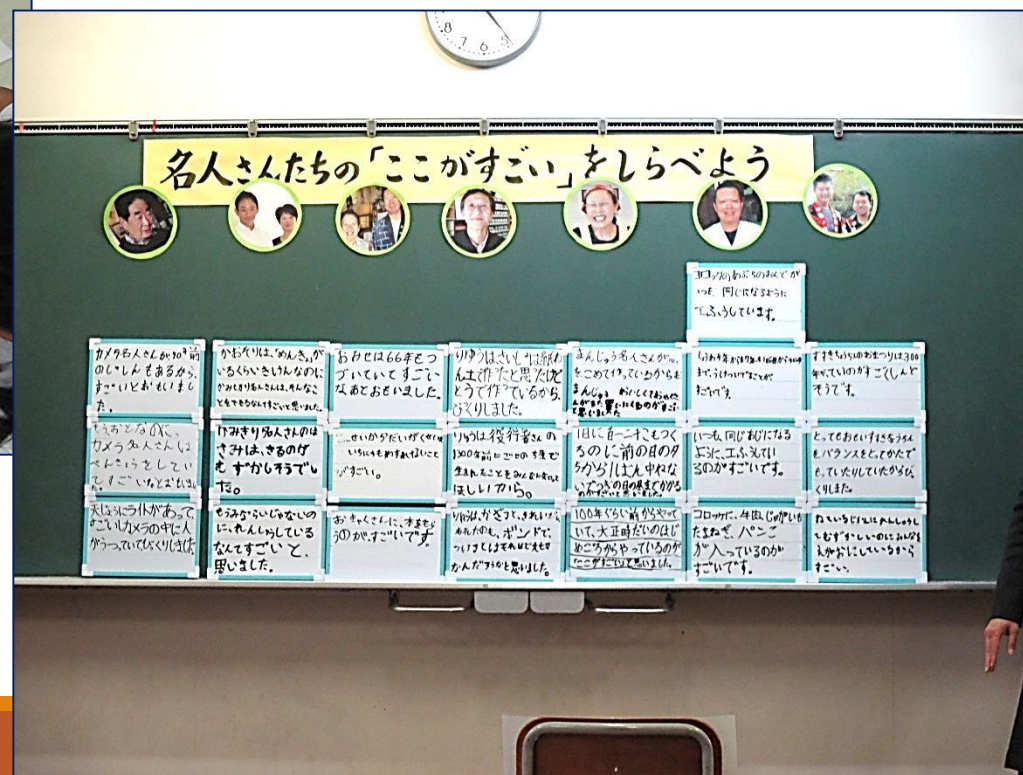
## ・ 伝え合い交流する活動の設定

～「すごいぞ！〇〇の名人ちょうさい」【内容(3)】～



一人一人が「名人さんのここがすごい」を書いて表現する

一人一人の「ここがすごい」の情報が集まる

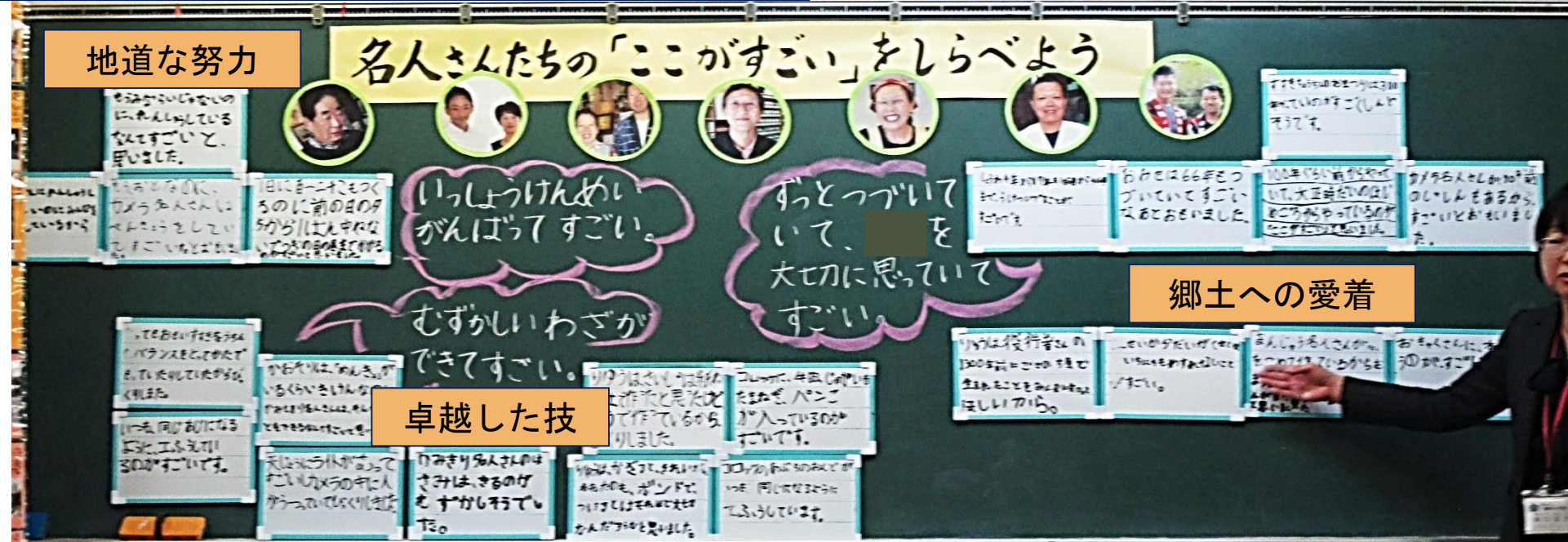


# 気づきの質を高めるための学習指導

## ・ 伝え合い交流する活動の設定

～「すごいぞ！〇〇の名人ちょうさいたい」【内容(3)】～

- ・一人一人の「ここがすごい」を分類
- ・分類した「すごさ」を意味付けて一般化
- ・気づきの質が高まり、ねらいが達成される

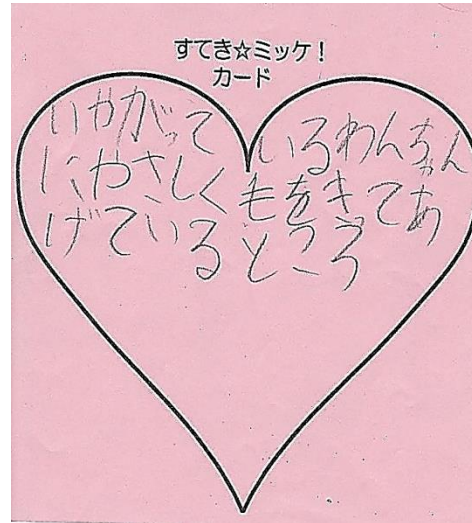
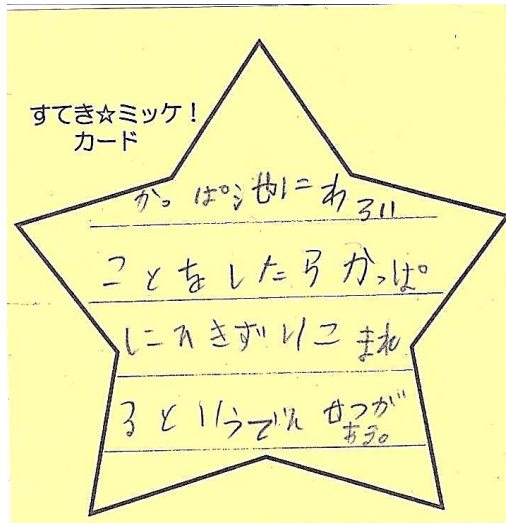


# 気付きの質を高めるための学習指導

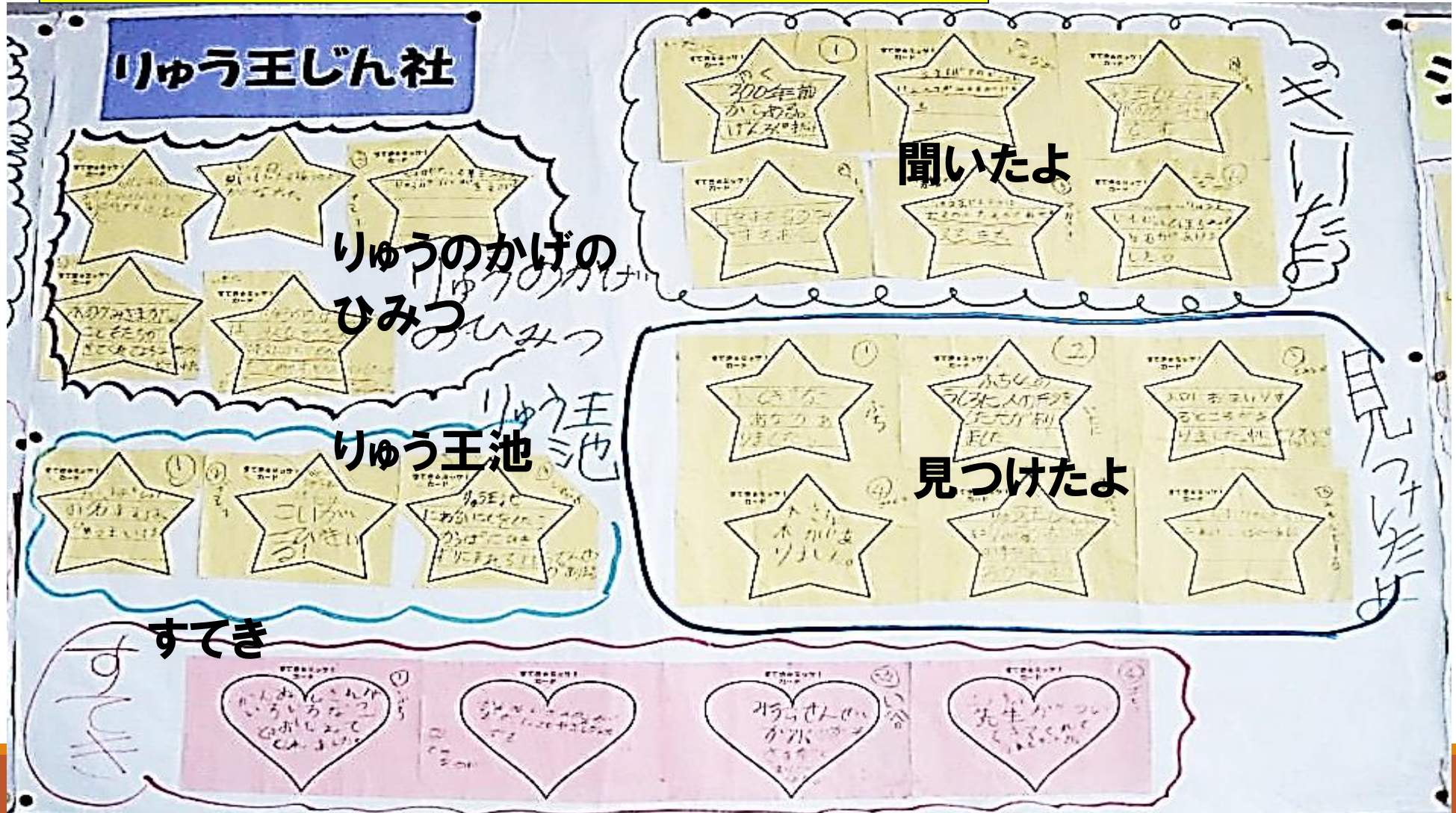
- ・ 伝え合い交流する活動の設定

～「まちのすてき☆ミッケ！」【内容(3)】～

## ミッケカード



- ・一人一人の心に残った「ミツケ」を分類
- ・分類した「ミツケ」を意味付けて一般化
- ・探検での気づきが視点に沿って明らかに





# 多様な学習活動を行う

## 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2

(3) 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるようにするため、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。

- 「見付ける」「比べる」「たとえる」・・・分析的に考える
- 「試す」「見通す」「工夫する」・・・創造的に考える

# 多様な学習活動を行う

～ドングリゴマづくり～

小学校学習指導要領解説 生活編 P70

## ドングリでコマを作って遊ぶ活動

どちらが長く回っているかな・・・？

競い合いの場

- ・ 友達のコマを真剣に見つめる
- ・ 自分のコマとの違いを見付け出す
- ・ コマを改良しよう！

試行錯誤

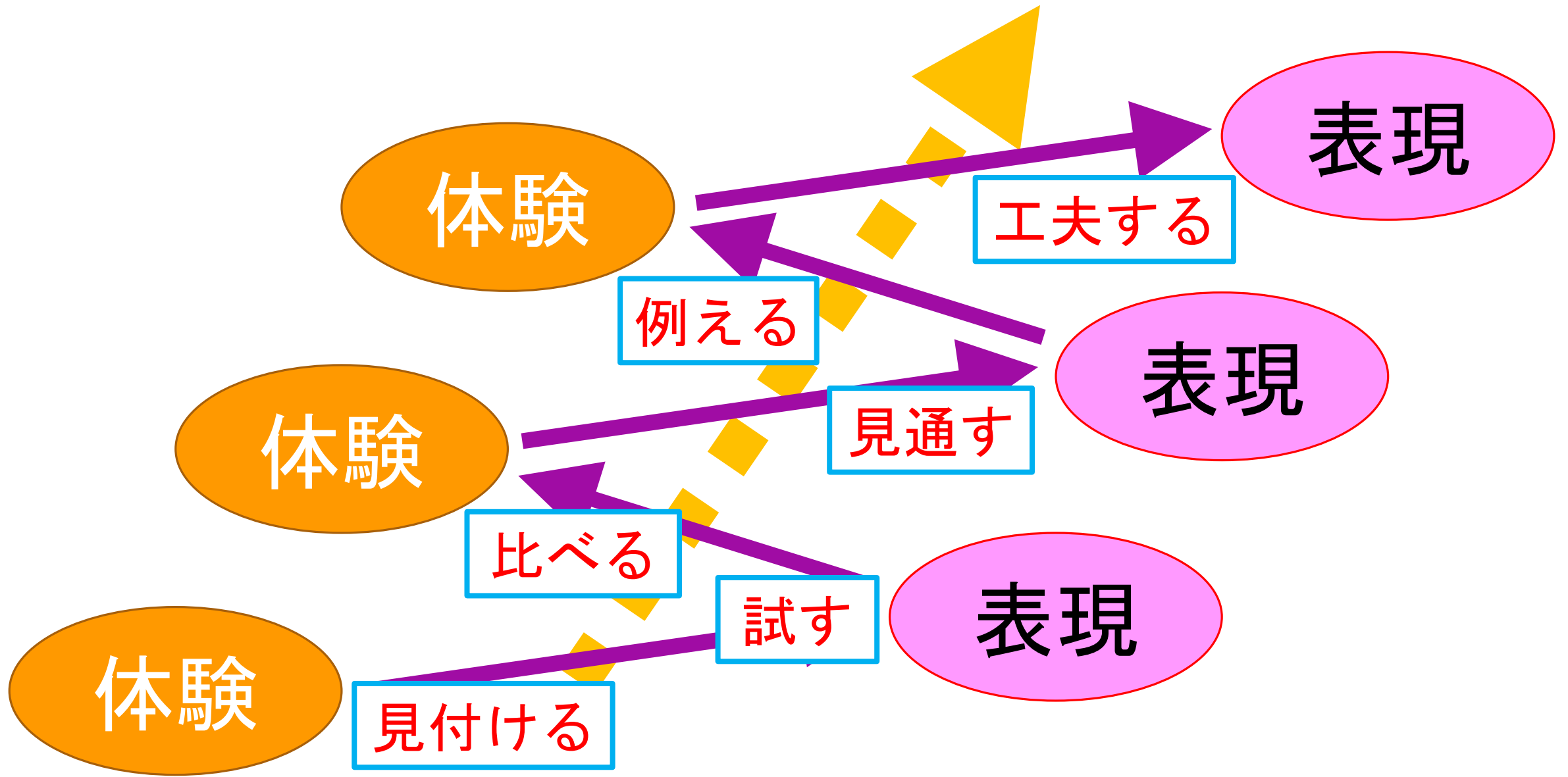
- ・ コナラよりクヌギの方が丸いから、きっとよく回る（種類や形）
- ・ 軸をどこに通すかで回り方が違う（軸の長さや位置）
- ・ 回し方を工夫すると長く回る（回し方）

多様な学習活動

- ・ 見付ける
- ・ 試す
- ・ 比べる
- ・ 見通す
- ・ たとえる
- ・ 工夫する

質の高い気付き

自らの気付きを振り返ったり、互いの気付きを交流したりする活動



### Ⅲ スタートカリキュラムについて

---

発達や学びをつなぐスタートカリキュラム

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>

発達や学びをつなぐ  
**スタートカリキュラム**

スタートカリキュラム導入・実践の手引き

文部科学省  
国立教育政策研究所  
教育課程研究センター 編著

# 小学校学習指導要領における位置付け

## 第1章 総則 第2の4の(1)

---

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

# 小学校学習指導要領における位置付け

## 第1章 総則 第2の4の(1)

---

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。

# 小学校学習指導要領における位置付け

## 第1章 総則 第2の4の(1)

---

特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

## 第2章 第5節 生活

### 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

---

- 1 (4) 他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高め、低学年における教育全体の充実を図り、中学年以降の教育へ円滑に接続できるようにするとともに、幼稚園教育要領等に示す**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連**を考慮すること。



## 第2章 第5節 生活

### 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

---

特に、**小学校入学当初において**は、幼児期における遊びを通じた総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるようにすること。その際、生活科を中心とした**や、弾力的な時間割の設定合科的・関連的な指導**を行うなどの工夫をすること。

# 小学校学習指導要領解説 生活編

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連

### ○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ・ 幼児期の遊び＝学びそのもの
- ・ 遊びを通して達成感や満足感を味わったり、葛藤やつまづきなどの体験をしたりすることを通して様々なことを学ぶ

※日々の遊びや生活の中で資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿をまとめたもの

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連

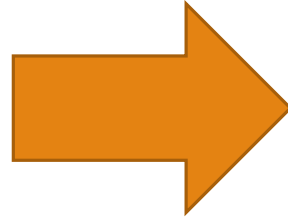
### ○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

【幼稚園教育要領より】

## 小学校入学当初に大切にしたいこと

幼児期における遊び  
を通じた  
総合的な学び



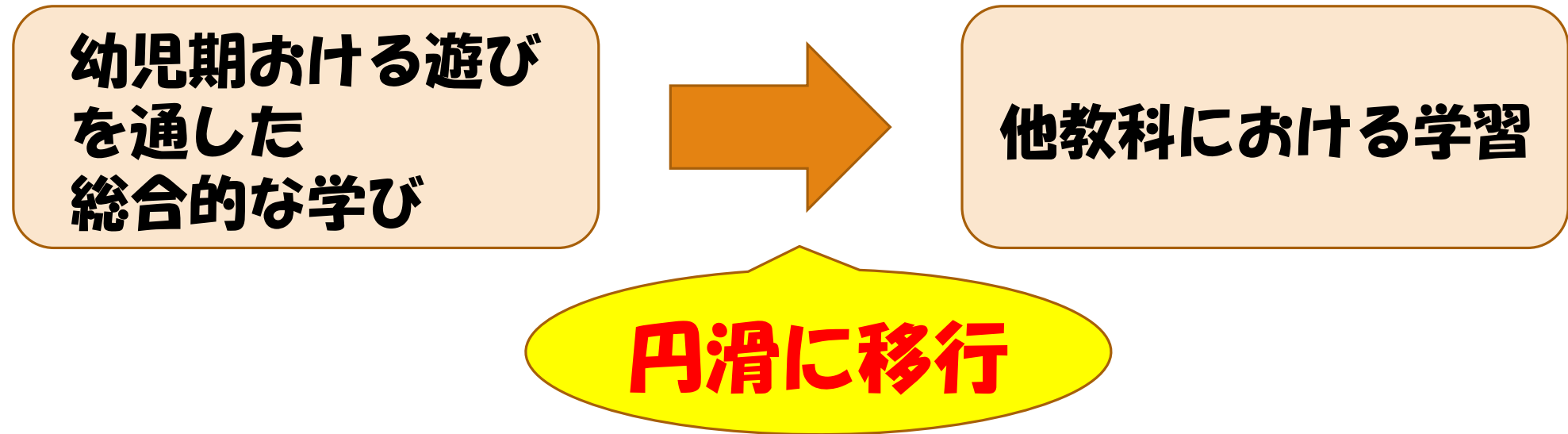
他教科における学習

**円滑に移行**

※幼児期における遊びを通じた総合的な学びを、

- 小学校の生活科を中心とした学習において発揮できるようにする。
- 児童の思いや願いをきっかけとして始まる学びが自然に他教科等の学習へとつながっていくようにする。

## 小学校入学当初に大切にしたいこと

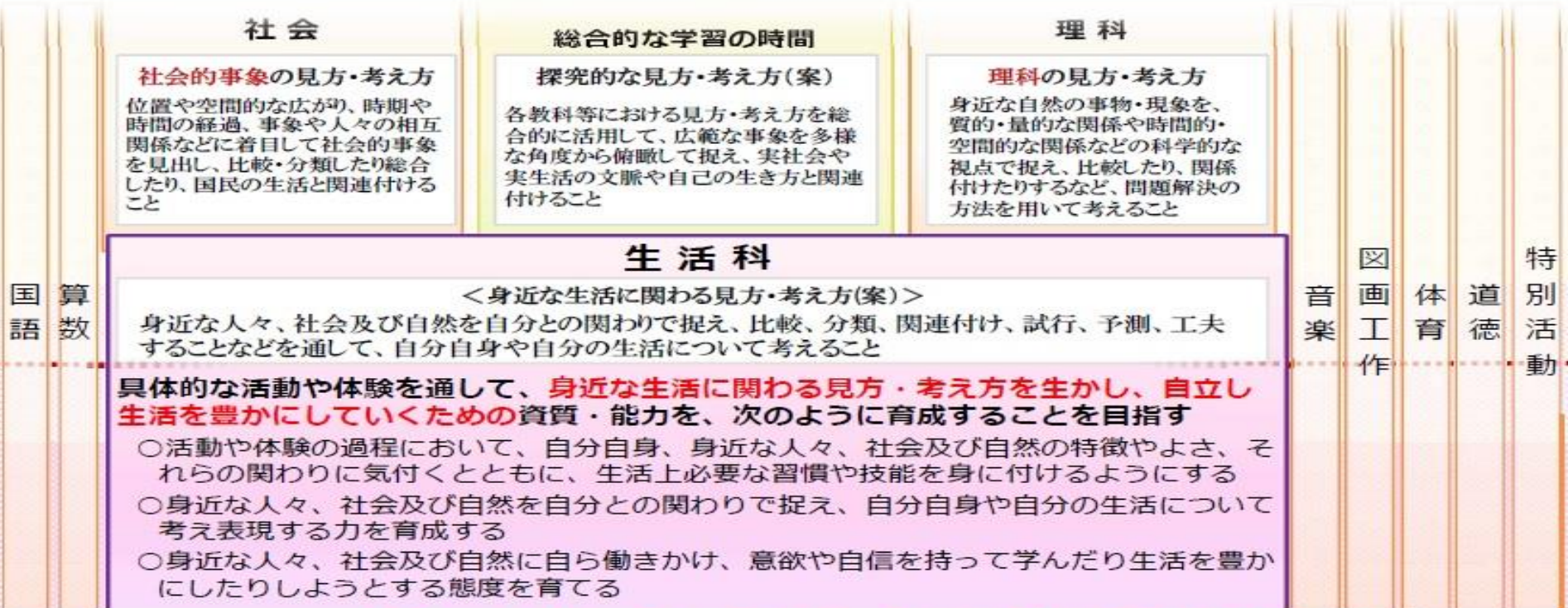


※幼児期の学びと育ちに対する理解を前提として、児童が安心して小学校生活に慣れ、自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を創り出すことが重要。

小学校  
中学年

教科等の特質に応じた  
「見方・考え方」や  
資質・能力を育むとともに、  
教科横断的にそれらを  
総合・統合していく学び

小学校  
低学年



接続

生活科を中心としたスタートカリキュラムの中で、合科的・関連的な指導も含め、子供の生活の流れの中で、幼児期の終わりまでに育った姿が発揮できるような工夫を行いながら、短時間学習なども含めた工夫を行うことにより、幼児期に総合的に育まれた「見方・考え方」や資質・能力を、徐々に各教科等の特質に応じた学びにつなげていく時期

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりとしながら、幼児の得意なところや更に伸ばしたいところを見極め、それらに応じた関わりをしたり、より自立的・協同的な活動を促したりするなど、意図的・計画的な環境の構成に基づいた総合的な指導の中で、バランスよく「見方・考え方」や資質・能力を育む時期

幼児教育

遊びや生活の中で、  
幼児期の特性に応じた  
「見方・考え方」や  
資質・能力を育む学び

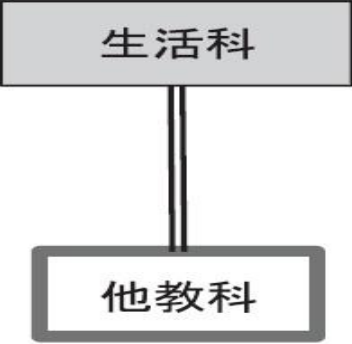
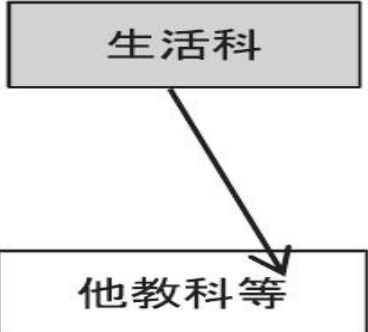
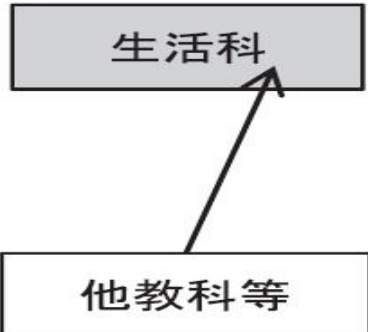
※各教科等の「見方・考え方」を踏まえて、関係性を示したものである。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目の濃淡は、小学校教育との関連が分かるように示したものであり、基本的にはすべての教科に関わっているが、濃い部分は特に意識的につながりを考えていくことが求められるもの。幼児教育において小学校教育を前倒して行うことを意図したものではない。

## スタートカリキュラムの編成

### ○スタートカリキュラム

入学当初に、幼児期の生活に近い活動と児童期の学びを織り交ぜながら、幼児期の豊かな学びと育ちを踏まえて、児童が主体的に自己を発揮できるようにする場面を意図的につくること

幼児期の教育と小学校教育を  
円滑に接続する重要な役割を担う。

	捉え方	タイプ(例)	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">合科的な指導</p>	<p>各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの</p>	<p><b>【合科】</b> 生活科を中心とした単元の学習活動において、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開することで、指導の効果を高める</p>	
	<p>教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの</p>	<p><b>【関連 A】</b> 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす</p>	
<p><b>【関連 B】</b> 他教科等の学習成果を生活科の学習に生かす</p>			



## スタートカリキュラムの編成

○生活科を中心とした合科的・関連的な指導

「がっこうだいすき なかよしいっぱい」

- ・ 探検で見付けたことを絵に表す（図画工作科）
- ・ 見付けた不思議を友達に伝える（国語科）

**つながりのある他教科等のねらいを考えて  
合科的・関連的に進める単元を構想する。**

## 合科的・関連的な指導の具体例

【合科】	生活科の学校探検で気付いたことなどを言葉で表現したり，友達と伝え合ったりする学習活動において，国語科の資質・能力「伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫すること」について指導することで，より効果的にねらいの実現を図る
【関連 A】	生活科で春の自然を観察したり，自然のもので遊んだりする体験が，音楽科で春の歌の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くことに生かされるように関連を意識して指導する
【関連 B】	算数科で育成する，ものとものを対応させることによって，ものの個数を比べることや，個数の順番を正しく数えたり表したりする知識及び技能が，生活科の学校探検で見つけたものを数える際に生かされるように関連を意識して指導する

## スタートカリキュラムの編成

### ○弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫

- ・朝の会から1時間目を連続した時間として設定

手遊びや歌

リズムに乗って体を動かす

絵本の読み聞かせ

児童からのお話タイム

- ・10分から15分程度の短い時間を活用して時間割を構成
- ・2時間続きの学習活動を位置付ける

児童が一日の始まりを楽しい気持ちで迎えられよう  
な学習活動

第1学年 単元配列表 (例)

各教科等	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週		
国語	あいうえおであそぼう						
	いちねんせい	よろしくね	はるのあさ	みつけたよ	ことばのひみつ	あめのひ	ともだちとはなそう
算数	なかまづくりとかず	くらべよう	10までのかず	なんぼんめ	いくつといくつ		
生活	がっこうだいすき みんななかよし					おおきなあれ	
音楽	みんなであうたおう		おんがくにあわせて				
図画工作	すきなものいろいろ	じぶんマーク	こんなことあったよ	ねんどであそぼう	すなやつちとあそぼう		
体育	からだほぐし		ゆうぐあそび	おにあそび			
道徳		げんきにあいさつ	みんなであそぶもの	ともだちとなかよく	いきものとなかよし		
特別活動	入学式 よろしくね	1年生を迎える会 たのしいきゆうしよく		おしごとたのしいな			

スタートカリキュラム第2週の週案 (例)

	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日
日	4/〇(月)	4/〇(火)	4/〇(水)	4/〇(木)	4/〇(金)
朝	「なかよくなるう」※				
	・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・本がたくさん	・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・本がたくさん
ポイント1	「がっこうだいすき みんななかよし」 ・自己紹介をしよう (国「よろしくね」2/3) ・学校のはてなや	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	「がっこうだいすきな かよいっぱい」 ・遊具で遊ぼう (体「ゆうぐあそび」1)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)
ポイント2	びっくりを見付けよう(生1と1/3)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春と遊ぼう (生2)	「10までのかず」 ・数えてみよう (算1)	・見付けたものを数えてみよう (算「10までのかず」1)	「10までのかず」 ・絵を見て数えよう ・数字を書こう (算1)
ポイント3	「あいうえおであそぼう」・ひらがな (国2/3)		「はるですよ」 ・みんな生きている (道1)	「はるのあさ」 ・工夫して読もう (国1/3)	「からだほぐし」 ・二人、三人、みんなで遊ぼう (体1)
ポイント4	「なかよしだいさくせん」 ・みんなでおおいしく給食を食べよう	「はるのがっこう こんにちは」 ・春のTシャツを作ろう (図工「はるとなかよし」1)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春のTシャツを飾ろう (図工「はるとなかよし」1)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	
昼					
5	「くらべよう」 ・数を比べよう (算2/3)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春のTシャツを作ろう (図工「はるとなかよし」1)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春のTシャツを飾ろう (図工「はるとなかよし」1)	「みんなであうたおう」 ・わらべうたで遊ぼう (音1)	

※の時間については、授業時数以外の教育活動として位置付けたり、各教科等で実施したりすることが考えられる。(各教科等で実施する場合には、学習活動がその教科等の目標や内容を実現するものである必要がある。)

## スタートカリキュラムの編成

### ○留意点など

- ・ 全職員で意義や考え方、大切にしたいことなどを共通理解。
- ・ 協力体制を組んで第1学年を見守り育てる。
- ・ 保護者にスタートカリキュラムの意義やねらい、児童の様子を伝える。
- ・ 幼稚園などの教職員との協議。